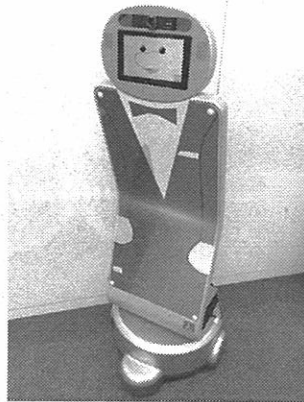


# 2020年東京五輪まで5年 大学が秘める多様な貢献の形

東京五輪・パラリンピックが開会する2020年7月まで、残り5年となった。大学生アスリートたちの活躍に期待が高まるが、競技以外にも大学はさまざまな分野で貢献しようとしている。



芝浦工業大などが開発中の「おもてなしロボット」

ベイエリアにある芝浦工業大（東京都江東区）など6機関が連携し、「おもてなしロボット」の開発が進んでいる。当地は選手村などの施設が多く建設される予定だ。五輪期間中にベイエリアを50

台から100台のロボットが回遊し、来場者への道案内や写真撮影などのサービスを行うという。日本語だけでなく、英語など多言語会話も可能にする考えだ。エリア別の混雑状況など、周辺情報の収集もできるロボットで、五輪後には社会実装を目指している。

開発に参加している同大工学部機械機能工学科の松日（まっし）信人教授はこう話す。

「まだ20%程度の開発状況ですが、ロボットの可能性を最大限に引き出して五輪に備えます。ロボティクスだけでなくサービス工学やまちづくりの観点を融合し、将来的には、地域に溶け込む新たなロボット産業を生み出したい」

この他にも、専門性を生かし、ボランティアとして「おもてなし」



トランポリンを盛り上げるためのプレゼンを行う実践女子大の学生

をしていくプロジェクトも進んでいる。国内の全7外国語大学（神田外語大、東京外国語大、名古屋外国語大、京都外国語大、関西外国語大、神戸市外国語大、長崎外国語大）が協力し、通訳ボランティアの育成に取り組んでいる。語学を生かしつつ、コミュニケーション力やホスピタリティーの精神を備えた人材の養成だ。8月には7大学から選抜された240人が集まり、**神田外語大**（千葉市美浜区）で3泊4日のセミナーを開催する。同大ではこれまで、卓球、柔道、野球、体操など、数多くの国際大会で800人近くの通訳ボランティアが活躍しており、その

ノウハウを共有する。

また、**実践女子大**（東京都日野市）では、東京五輪に向けて学生にできることは何かを考えるアクティブ・ラーニング型授業を行った。メジャーとはいえないトランポリン競技を盛り上げる施策を提案するのが課題で、学部や学科を横断して集まった学生がチームを組み、約1カ月で提案をまとめた。

授業のクライマックスは、東京五輪・パラリンピック競技大会組織委員会メンバーへのプレゼンテーション。学内で選ばれた4チームと、五輪選手を出すなどトランポリンが盛んな**金沢学院大**（石川県金沢市）のチームも加わり、「ゆるキャラを作ったLINEスタンプに」「渋谷キャンパスがある渋谷区の大学と連携してトランポリンの体験イベントを開催」「おもしる動画を作ったSNSで拡散」「トランポリンをテーマにドラマ化」といったアイデアが提案された。

プレゼンを聞いた組織委員会のメンバーからは「大学生が盛り上げることによって、中高生や小学生にまで伝わる可能性がある。実現できそうなレベルの高いアイデアも多かった」と高評価を受けた。プレゼンを行った学生は「この授業を通じて、選手だけでなく、私たちも五輪を盛り上げることができると考えた」と話す。

## 五輪はやはり「参加」することに意義あり

**武蔵野大**（東京都江東区）では9月から全16回の「オリンピック文化論」を開講する。スポーツのみならず、環境、都市基盤整備、マーケティングといった学術的な観点も絡めたテーマを予定している。同大のキャンパスもベイエリアに位置することから、五輪に対する学生の意識を高め、ボランティアとして貢献してもらうことが狙いだ。

**東京富士大**（同新宿区）では、一般向けにも公開する「オリンピック学」の講座を開講予定だ。経営学部イベントプロデュース学科の特講で、9月から来年1月まで、毎週行われる。「オリンピックと

大学名	所在地	内容
筑波学院大学	茨城	東京五輪に向け、つくば市などと連携協定を締結。サッカーフィールドを整備し、地元チームの練習の場に。10月24日に小学生から社会人まで参加可能な英語スピーチコンテスト「第3回KVACUP」を開催。英検協会などが後援。初年次教育に「スクエアダンス」を導入し、コミュニケーション能力を養成。夏休み前には「心の授業」も。
城西大学	埼玉	米ハーバード大名誉教授のエズラ・F・ヴォーゲル氏に名誉博士号を授与。「ジャパン・アズ・ナンバーワン」の著者。
聖学院大学	埼玉	今年度から「釜石学」を開講。同市を中心に東北の歴史や風土を学び、震災の復興支援で築いてきた絆を深める。
淑徳大学	千葉	看護栄養学部の桑原節子教授が監修した「肉じゃがカレー弁当」と「サーモンフライ弁当」がファミリーマートで販売中。
聖徳大学	千葉	英語教員らを支援する「英語教師セミナー」を来年2月まで開催。シェイクスピアの原書講読などを行う。
千葉商科大学	千葉	高校生を対象に、地域ビジネスを提案する「地元再発見コンテスト」を今年も実施。応募締め切りは10月2日。県立銚子商業、県立千葉商業、市立船橋の3高校と高大連携協定を締結。商品開発やインターンシップなどを実施。サービス創造学部が経産省の「産学連携サービス経営人材育成事業」に採択。56の企業と先端的な教育プログラムを展開。
大妻女子大学	東京	児童学科の学生が、千代田キャンパス近隣73カ所の花植え作業に参加。地元住民らと1728鉢を植えた。
学習院大学	東京	同大史料館が8月5日までミニ展示「辻邦生」を開催。著書「西行花伝」に関する直筆資料や書簡、蔵書などを紹介。
駒澤大学	東京	法科大学院の2016年度第4期入試を、東京のほか新潟、長野、福岡でも実施。関東圏外の志願者の負担を軽減。
実践女子大学	東京	企業が出す課題に応えるプロジェクト型授業を展開。最終プレゼンは福岡女学院大、東洋英和女学院大と合同で。エッセーと短歌の公募賞「第13回下田歌子賞」の作品を9月10日まで募集。今年のテーマは「家族」で、12月19日に表彰式。授業の一環で、学生が東京五輪のトランポリン競技を盛り上げるための方策をプレゼン。大会組織委員会CCOが参加した。
芝浦工業大学	東京	理事長に五十嵐久也氏（三井住友建設株式会社元代表取締役社長）を再任。任期は2018年6月26日までの3年間。東京五輪を見据え、「おもてなしロボット」をベイエリアの研究機関と開発中。道案内からビッグデータ収集までを担う。
昭和大学	東京	歯科病院内にデジタルラボが完成。口腔内スキャナーやCAD/CAMシステムなど最新機器を備え、国内の歯学部では最大級。
昭和女子大学	東京	学生チームが日本ケンタッキー・フライド・チキンと共同で「美食唐揚げ弁当」を開発。「鶏から亭」全4店舗で販売中。「女子学生のための優良企業ランキング」第4弾を発表。金融業の「いきいきキャリア」部門では、明治安田生命保険がトップに。
清泉女子大学	東京	学生が昼食を持ち寄り英会話を楽しむ「自由英語会話ラウンジ」を週3日開催。定員6人の予約が半月先まで埋まる。
創価大学	東京	2016年度から奨学金制度を新設。兄弟姉妹が在籍する新入生に、入学金半額（兄弟姉妹が2人以上は全額）相当額を給付。
大東文化大学	東京	2016年度入試から「グリーン出願」を導入。ネット出願に移行し、検定料の一部を環境保護団体に寄付。併願者割引も。
多摩大学	東京	フットサルの選手とマネジメントスタッフを対象に、経営情報学部がAO入試で最大96万円を給付する奨学金制度を新設。
中央大学	東京	理工学部の竹内健教授のグループが、指定した時点で自動的にデータが壊れるメモリシステムを開発。
帝京大学	東京	学生の悩みに著名人がお勧めの本で答える読書企画「Special MONDO」第1弾がスタート。回答者は作家の伊坂幸太郎さん。創立50周年を記念し、雑誌「東京人」（都市出版）の7月増刊号「帝京大学 歴史をしのぐ未来へ」を刊行。
帝京平成大学	東京	第18回冬季デフリンピック大会に、現代ライフ学部の津賀裕喜助教がアスレティックトレーナーとして参加した。
東京経済大学	東京	生協と学内のコンビニのレジ袋を有料（1枚5円）に。エコキャンパスを目指す学生の働きかけで、前年比96%の削減を達成。
東京工科大学	東京	応用生物学部が8月24日に「先端化粧品科学シンポ」を開催。関連企業・団体に研究成果を還元するほか、学生による成果発表も。また、9月1日には「先端食品セミナー」を開催。健康機能成分をテーマに専門家が解説する。
東京農業大学	東京	農学部の三井裕樹准教授がダイコンの全ゲノム配列を解説し遺伝子データベースを構築。根の成長に働く主な遺伝子群を同定。
東洋大学	東京	グローバル化を進める企業に講師を派遣する「企業研修支援プログラム」を開始。文化や宗教など異文化理解について講義。

**♈ 牡羊座**  
3.21>4.20  
周囲への目配り気配りができて指導力を発揮。不満分子をうまく使えば組織内で機能する。中盤は趣味仲間との交流に力を入れよう。格上のメンバーから情報を引き出して参考に。終盤は映像や音楽を楽しむことで心身が癒やされる。休んで故障を治療するのも結構。

**♋ 蟹座**  
6.22>7.22  
相手の言動に刺激を受けてやる気満々。ケンカになったとしても相手とはより親密になる。中盤は欲が裏目に出る。自分の利益ばかり求め相手にももうけさせてあげると事態は好転。終盤は自分の持つエネルギーを夢の実現に注いで飛躍。アクティブなスポーツも吉。

**♉ 牡牛座**  
4.21>5.21  
大事な人に自分の良さをアピールするチャンス。相手の喜ぶサプライズを演出して印象づけよう。中盤は周囲のプレッシャーに負けない気持ちの強さが大切。堂々たる姿勢を貫く。終盤はできるだけ社会的に振る舞うこと。困った人にも親切に。ただし深入りは無用。

**♌ 獅子座**  
7.23>8.22  
ものへの愛着が増す時。育てるのがうまく動植物はよく成長する。愛用品の手入れをマメに。中盤は困った時に救いの神が現れる。その人のアドバイスに従ってあなたはパワーを復活。終盤は不要品の整理をしよう。約束したことを忘れていないか今一度チェックを。

**♊ 双子座**  
5.22>6.21  
問題の原因を探る好機。発生源を突き止めて根本から解決すること。財政の漏れも見つかる。中盤は活動エリアを広げてみよう。場所を変えると状況が一変して勢いが出てくる。終盤は重圧の掛かることを進んで引き受けて信頼度をアップ。権力を握っても乱用は禁物。

**♍ 乙女座**  
8.23>9.23  
何をやっても注目されて人気になる。グループのまとめ役としても見事な仕切りで大活躍。中盤は細かいところに目が行き届いて実務は完璧。神経を使う時なのでケアを入念に。終盤は相手を過大評価してすっかり心酔。気持ちが入りすぎないように自分を抑えて。

7.29  
(WED)  
V  
8.4  
(TUE)

メープル・ピンドットの  
**HOROSCOPE**

**♎ 天秤座**  
9.24>10.23  
打たれ弱い時なので怖そうな人には近づかないこと。甘えられる人にガードしてもらおう。中盤はパーティーや親睦の場でああなたの魅力が輝く。楽しいパフォーマンスを見せよう。終盤は健康を維持するためのエクササイズが効果的。仕事も財政もスリム化を図って。

**♏ 蠍座**  
10.24>11.22  
体験イベントに出向こう。仲間が誘ってくれることには進んで参加を。出先に良い出会いがある。中盤は大事な任務が待ち受けているからそのための準備を入念に。予習の効果は絶大。終盤はひらめきに優れて勤が当たる。勝負に出る好機。詩や俳句にも才能を発揮する。

**♐ 射手座**  
11.23>12.21  
仕事に専念しよう。動きぶりは高く評価されて収入に結びつく。代役を引き受けるのも幸運。中盤は自分の理想とする生き方を実践するための調査と研究に励もう。海外に良い手本あり。終盤は自分の感性が喜ぶことをして心豊かに過ごす。音楽やダンスはおすすめ。

**♏ 山羊座**  
12.22>1.20  
心動かされる出来事に出会う。恋のチャンスは一瞬だから速攻で。ストレートな表現で成功する。中盤はこれまで獲得した資産が利益を生む。新しい動きに惑わされて姿勢を変えないこと。終盤は仲間を引きずられがち。情に流されるから理性で歯止めをかけること。

**♐ 水瓶座**  
1.21>2.18  
良くないと分かっていることほどどっぷりはまって抜け出せない。やけ酒ややけ食いに注意せよ。中盤は対一の対決場面があるから自分を強く持って臨むこと。勝てば強い味方を得る。終盤は一獲千金を夢見がち。小さなギャンブルには成功するが長続きはしない。

**♑ 魚座**  
2.19>3.20  
野心的な活動が認められて同志が集まってくる。先輩たちの体験を参考に道を究めよう。中盤は実務に追われてへとへと。煮詰まった時は完全休養を取ってエネルギーを充電する。終盤はもやっとしたイメージを形にする潜在能力が開花。創作活動に弾みがついて幸運。

大学名	所在地	内容
法政大学	東京	大学や入試の情報をLINEで配信。8月のオープンキャンパス中は、イベントの空席情報なども提供する。
武蔵野大学	東京	一部の学部で4学期制を導入し、2学期と夏季休暇を利用した5~10週間の留学プログラムを新設。初年度は17人の学生が参加。2016年度入試から英語の資格や検定を活用した「グローバル方式」を全学部で導入。スコアに応じ入試の英語の得点に換算。後期から「オリンピック文化論」を開講。周辺に選手村などが設置される有明キャンパスで、五輪への意識向上を促す。
明治大学	東京	同大米沢嘉博記念図書館が10月4日まで、赤塚不二夫の生誕80周年を祝う「赤塚キャラ誕生のひみつ展」を開催。理工学部的小野弓絵准教授らのグループが脳卒中患者のリハビリ技術を開発。意思と脳波を連動させ、手の動作感覚を取り戻す。地域活性化を提言する「学生派遣プログラム」を長野県野沢温泉村で実施中。現地調査を重ね、10~11月に村長らに最終発表。農学部野菜園芸学研究室が8月5日に、バイオニアエコサイエンス(株)と「新世代アグリノベーター育成講座」を開催。同大博物館特別展示室で8月2日まで、第2回全国大学史展「学生たちの戦前・戦中・戦後」を開催。
目白大学	東京	福祉作業所が製造した焼きたてパンや雑貨を学内で販売。新宿区との「相互就労体験に関する協定」に基づく取り組み。
ヤマザキ学園大学	東京	2017年の学園創立50周年を記念し、来年度から学費を減額。「動物看護学」と「動物人間関係学」の2専攻制に改組。
立正大学	東京	教員を目指す学生を支援する「教職教育センター」を新設。教育委員会とも連携し、プログラムの開発などに取り組む。
神奈川工科大学	神奈川	ものづくりに取り組む学生を支援する「夢の実現プロジェクト2015」の採択9チームが決定。年間100万円を限度に援助。
関東学院大学	神奈川	ごみ問題の解決に向けて大学と自治体が連携。生ごみ処理機「キエーロ」を葉山しおさい公園に寄贈。富士通の開放特許を活用して、学生が地元中小企業にビジネスプランを提案。12月には各地域代表のプレゼン大会も。2030年の住まいを提案する経済産業省の事業「エネマネハウス2015」に参加。省エネと快適さが共存する住宅を施工・展示へ。
国際大学	新潟	理事長に前三井物産株式会社取締役会長の楢田松登(うつだ・しょうえい)氏が就任。任期は2018年3月31日まで。
金沢工業大学	石川	インターネットの無料講座]MOOCで、8月31日まで「世界を変えた書物—原著で迎える科学知の潮流—」を開講中。長野県坂城町および同町の公益財団法人、協同組合と交流協定を締結。地域産業の活性化などで協力。来春開校の京都市立京都工芸大学院高校が同大をモデルにプロジェクト型学習を導入。高大連携で共同研究や出張講義などを実施。「南海トラフ巨大災害の実効性ある防災対策」の研究報告会を8月26日に大阪、27日に名古屋で開催。
愛知大学	愛知	11月3日に「高校生英語スピーチコンテスト」を開催。8月3日~9月11日まで参加者を募集。
愛知学院大学	愛知	名城公園キャンパスが「平成26年度照明普及賞」を受賞。LEDを用い、時刻や人の有無で照明を制御する省エネなどが評価。
京都外国語大学	京都	短編小説のコンテスト入賞作品を書簡化した「Pax Mundi per Books—外大生による6つのおはなし」を刊行。
京都産業大学	京都	経営学部松高政ゼミが京都・東山区役所などと協働で観光のパリアフリーを推進。食物アレルギーに対応したメニューを開発。
京都橘大学	京都	現代ビジネス学部で観光を学ぶ学生が冊子「こだわり市場」を刊行。学生目線で京都の隠れた名店を取材し、HPでも公開。看護学部の学生が、京都市山科区の高齢者約150人を対象に体力測定・健康教育を実施。
立命館大学	京都	来春、大阪いばらきキャンパスに総合心理学部を開設予定。研究、学習スペースは、国内の心理学部で最大規模。大阪いばらきキャンパスに「稲盛経営哲学研究センター」を開設。稲盛和夫京セラ名誉会長が名誉研究センター長に就任。
龍谷大学	京都	大学が実施する文化事業では最大規模の「第13回青春俳句大賞」を開催。応募締め切りは9月30日。
追手門学院大学	大阪	毎月第2、4火曜日に「ボッチャ健康サークル」を開講。パラリンピック正式種目を楽しみながら、健康づくりに取り組む。
大阪学院大学	大阪	大学院商学研究科で学ぶ漫才師のハイヒール・リングさんに名誉博士号。情報番組などでの活躍を表彰。
大阪工業大学	大阪	無料オンライン講座「gacco (ガッコ)」で8月31日まで「知的財産とビジネス」を開講。学校法人常翔学園が広報誌で東京五輪を特集。研究者による政策提言や、OB選手へのインタビューなどを連載中。
大阪国際大学	大阪	全国の中、高、大学生を対象にエッセーコンテスト「世界に触れて、成長した私」を開催。応募締め切りは9月30日。
摂南大学	大阪	イタリアのIULM大と包括協定を締結。教員や学生の交流を促進し、研究・教育の発展と国際化を目指す。

※記事の詳細については、「大学プレスセンター」のホームページ(<http://www.u-presscenter.jp/>)をご覧ください。

メディア「スポーツツーリズム」など多彩なテーマが学生にも人気で、昨年は100人程度が受講したという。

聴覚障害者のための「デフリンピック」の冬季大会が、今年3月にロシアで開催された。金メダルを2個獲得するなどの活躍を見せた、アルペンスノーボードチームのアスレティックトレーナーを務めたのが帝京平成大(同豊島区)の津賀裕喜助教だ。チームに帯同してトレーニングなどの指導を行い、選手の活躍を陰で支えた。この経験を踏まえ、同大の現代ライフ学部経営マネジメント学科トレーナー・スポーツ経営コースで「アスレティックトレーナー現場実習」を受け持ち、スポーツ現場でのノウハウを学生たちに教えている。

選手として出場することだけが五輪への参加ではなく、それをサポートするすべての人を含めて「参加者」といえるのかもしれない。大学は研究面、人材面など、多様な分野で五輪に貢献していく。

大学通信・小林 聡